

日本古来の美と優雅さを追及した仕上げ材  
**シーエル 5 / シーエル 8**

～人に優しく、自然環境に適した居住空間を持つ安心な住まい～

シーエル 5

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305238
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

シーエル 8

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	0305239
放散等級 区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	<a href="http://www.nsk-web.org/">http://www.nsk-web.org/</a>

## シーエル 5 / シーエル 8

ハードな表面にもかかわらずしっくいのようなきめ細かさと白さを生かした「シーエル 5」は、日本の伝統的な建築物をはじめ洋風建築物にも採用できる、しっくい調仕上げの白色系セメントモルタルです。「シーエル 8」を下地に採用することにより、耐久性が向上します。

### 〔目 的〕

この施工マニュアルは「シーエル 5」 / 「シーエル 8」の塗り工事に於けるクラック防止と耐久性向上を追及するものです。

### 〔用 途〕

しっくい調仕上げの白色系セメントモルタル

### 〔適 用 下 地〕

○シーエル 8 : モルタル、コンクリート、ALC、プラスターボード\*

○シーエル 5 : シーエル 8

※シーエル 8 はシーエル 5 の専用下地材です。必ずシーエル 8 を下地に施工してからシーエル 5 の施工を行って下さい。

### 〔使 用 材 料〕

「シーエル 5」 : 20kg / 防湿紙入り
「シーエル 8」 : 20kg / 防湿紙入り
「NICE ラテックス #45」 : 高性能アクリル系樹脂 18kg 缶入り、4kg・1kg ポリ容器入り ※吸水調整材・モルタル接着増強剤
「CL タフガード」 : ビニロン繊維の FRC 補強メッシュ 幅 : 1m、33cm、20cm、10cm いずれも 100m 巻き
「KC コート」 : 浸透性撥水剤 16ℓ、4ℓ 缶

## 〔調 合〕

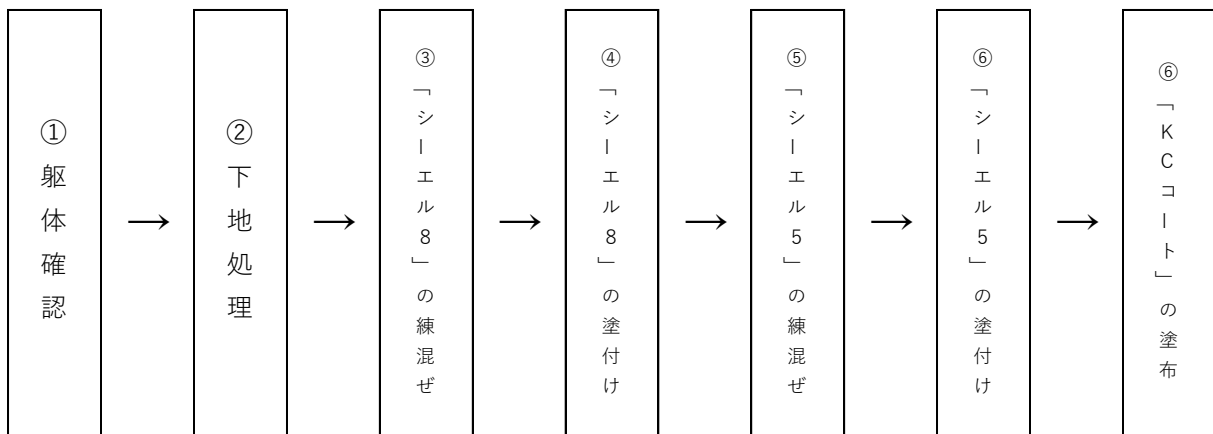
シーエル 5	2 0 k g /袋
上水道水	約 6 ~ 7 ℓ
NICEラテックス # 45	0 . 5 ~ 1 k g

練上がり量 : 約 1 6 ℓ  
標準塗り厚 : 約 1 ~ 2 m m  
標準施工面積 : 約 1 6 m<sup>2</sup> ( 1 m m 厚 / 1 袋 )

シーエル 8	2 0 k g /袋
上水道水	約 4 ℓ
NICEラテックス # 4 5	約 1 . 0 ~ 1 . 5 k g
※ALCの場合は 1 . 5 k g	

練上がり量 : 約 1 4 ℓ  
標準塗り厚 : 約 3 ~ 4 m m  
標準施工面積 : 約 3 . 5 m<sup>2</sup> ( 4 m m 厚 / 1 袋 )

## 〔施工工程〕



## 〔施 工 方 法〕

### ○ 躯体確認（コンクリート、モルタル下地：シーエル8塗付け）

- 1) 施工前に気温が5～35℃の範囲内で施工して下さい。躯体の温度が高いと判断される場合は水打ち、シート養生等をして下さい。  
※躯体が高温度である場合、ドライアウトや亀裂、剥離（浮き）の要因となり、低温度では硬化不良、接着不良等の要因となることがあります。
- 2) コンクリート下地の場合は壁面にピンホール、ジャンカ、不陸面等が無い確認し、モルタル下地の場合においてもクラック、浮き、硬化不良等の異常が無いことを確認して下さい。シーエル8塗り付けに支障がある場合は管理者と協議の上、補修を行う等、適切な処置を講じて下さい。  
※モルタル下地がサンドモルタル系である場合は施工を避けて下さい。  
※コンクリート下地がJASS5（鉄筋コンクリート工事）の基準を満たしていない場合も施工を避けて下さい。  
※プラスターボードへの施工は弊社営業担当までお問い合わせ下さい。  
※ALC下地の場合の処置は下記の「●ALC下地の場合」を参照。

### ○ 下地処理（シーエル8の塗付け、吸水調整材の塗布）

- 1) 吸水調整材の塗布前にコンクリート、モルタル下地の埃・塵、白華、油分等は取り除いて下さい。
- 2) NICEラテックス#45」の3倍液（「NICEラテックス#45」1：上水道水 2）を壁面全体に十分塗布し、乾燥させて下さい。（養生期間1日を目安にして下さい。）

### ○ シーエル8の練混ぜ

- ① シーエル8・・・1袋（20kg）
- ② NICEラテックス#45・・・1.0kg
- ③ 上水道水・・・4ℓ（標準水量）

- 1) バケツ等の容器に③上水道水4ℓを入れ、続いて②NICEラテックス#45を1.0kg投入し、よく攪拌し混合水を作ります。

- 2) 混合水を練混ぜ容器へ標準水量（4ℓ）より少なめに投入し、その混合水の中へ①シーエル8を少しずつ加えながらハンドミキサー等で練混ぜてください。
- 3) 残しておいた混合水を少しずつ加えながら、適宜軟度（硬さ）を調整してください。

#### ○シーエル8の塗り付け

- 1) コンクリート、モルタル下地の表面を確認し、シーエル8をシゴキ塗りし、追っかけて3～4mm程度の厚みまで塗り付けてください。タイミングを見計らい平滑に仕上げてください。（シーエル8の表面は梨地仕上げしか出来ませんので注意下さい。）
- 2) シーエル5の中塗りに使用する際は、「養生期間を1日」置いてから施工をしてください。

#### ●ALC下地の場合

##### ●躯体確認

- 1) ALCパネルの表面の通りが極力凸凹のないよう平滑にしてください。
- 2) ALCパネルの表面のほこり、ひび割れなど「シーエル8」の塗付けに支障がないか点検し、支障がある場合は補修を施すなど、管理者と協議し、適切な処置を講じてください。

※ほこりの清掃は施工当日、ひび割れ等の補修は施工2～3日前に行ってください。

※コンクリート、モルタル下地と同様に気温5～35℃の範囲内、躯体温度が高い場合は水打ち、シート養生などの処置を行ってください。

※ALCにおいてはひび割れが瀘水の原因となる恐れがありますので十分注意してください。

- 3) ALCパネルのジョイント部にコーキングが充填されているか確認し、充填不足が確認された場合は直ちに是正処置を講じてください。

##### ●下地処理

- 1) モルタルの付着を強固にするためにALC表面のほこり、汚れ、油分をブラシ、サンドペーパーなどで除去してください。
- 2) ALC表面にNICEラテックス#45の3～5倍液を刷毛やローラー等でムラなく均一に塗布してください。

- 3) 塗布後から長期間放置しますと ALC 表面に埃等が付着し、接着強度を阻害する恐れがありますので、3 日以内にはシーエル 8 を塗り付け下さい。

● 練混ぜ

上記、○シーエル 8 の練混ぜを参照下さい。

NICE ラテックス # 4 5 の混入量は 1 . 5 k g になります。

● 塗付け

- 1) 目地部の処理と下塗り

練混ぜたシーエル 8 を ALC パネル表面のジョイント部へ塗り付けます。ALC パネルの表面と面一となるようにして下さい。

- 2) ジョイント部にシーエル 8 を塗り付けた後、「CL タフガード」を適宜サイズ調整し、ジョイント部のシーエル 8 へ貼り付け、コテ等で押さえ込み、表層下に入るように伏せ込んで下さい。養生期間を 1 日とってから次工程へ入って下さい。

- 3) ジョイント部の乾燥具合を確認し、ALC 全体にシーエル 8 を塗り付けます。3 ~ 4 mm 塗付け、タイミングを見計らい平滑に仕上げして下さい。シーエル 5 の中塗りに使用される際は再度養生期間を 1 日取り、施工を行って下さい。

○ シーエル 5 の練混ぜ

- |  |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"><li>・ シーエル 5 . . . 2 0 k g</li><li>・ 上水道水 . . . 6 ~ 7 ㍓</li><li>・ NICE ラテックス # 4 5 . . . 0 . 5 ~ 1 . 0 k g</li><li>・ NICE ラテックス # 4 5 ( 3 倍液 ) . . . 吸水調整用</li></ul> |
|--|

- 1) シーエル 5 塗り付けに先立ち、NICE ラテックス # 4 5 の 3 倍液をシーエル 8 表面にムラ無く均一に塗布し、乾燥させて下さい。(養生期間 1 日)
- 2) バケツ等の容器に上水道水 6 ~ 7 ㍓ を入れ、続いて NICE ラテックス # 4 5 を 0 . 5 ~ 1 . 0 k g 投入し、よく攪拌し混合水を作ります。
- 3) 混合水を標準水量 ( 6 ~ 7 ㍓ ) より、少なめに練混ぜ容器に入れ、その中にシーエル 5 を少しずつ投入し、ハンドミキサー等で練混ぜます。

残しておいた混合水を少しずつ加えながら、適宜軟度（硬さ）を調整して下さい。

※標準以上の水量で練混ぜると、亀裂、エフロの発生原因となりますので注意下さい。

#### ○シーエル5の塗り付け

- 1) シーエル8の下地確認を行った後、シゴキ塗りを行い、追っかけて1～2mmの厚さまで塗り付けて下さい。モルタルの水引具合を見計らい、平滑に仕上げして下さい。尚、鏝仕上げを行う場合は鏝焼けしないようプラスチック鏝で仕上げして下さい。
- 2) 夏期1日、冬期2～3日以上、養生を行って下さい。

#### ○KCコートの塗布

- 1) 「KCコート」を希釈せず、そのままローラーや噴霧器を用いて、ムラにならないように全面塗布して下さい。  
塗布量は10～25㎡（4ℓ当り）です。  
シーエル5の撥水、吸水防止及び白華抑制に優れ、耐候性、耐久性が向上し美観を長期にわたり保ちます。

○本書はシーエル8を下地としたシーエル5の施工について記載しています。シーエル8を下地としない場合のシーエル5の性能については保証致しかねますのでご了承下さい。また同日施工される場合、躯体が特殊な場合については弊社担当営業まで問い合わせ頂きますようお願い申し上げます。

#### ●養生時の注意事項

##### 1) 施工時の養生

- ①寒冷期には、暖かい日を選んで施工をする。やむを得ず気温が5℃以下の時に施工する場合は、適切な保温対策を講じる。夜間の気温低下による凍害の恐れがある場合は作業を早めに切り上げ、現場管理者との協議の上、十分な養生を行って下さい。
- ②夏期に屋外で施工する場合は、急激な乾燥を防止するためシート等で覆うなど適切な対策を講ずる。
- ③降雨・強風あるいは周辺のほかの作業により、塗り付け作業に支障をきたす恐れのある場合は、作業を中止する。

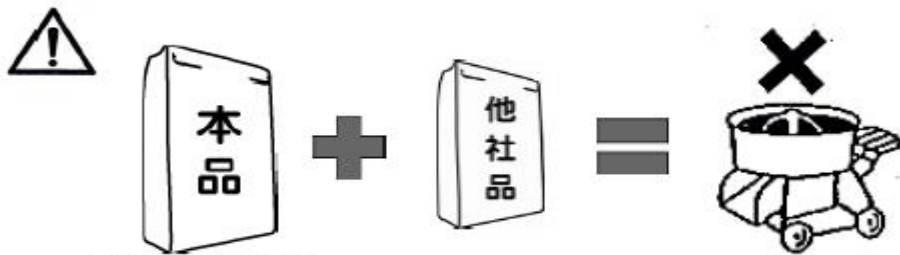
## 2) 施工後の養生

- ① 塗り付け後、早期に乾燥する恐れのある場合は、通風・日光を避けるようシート掛け養生など、適切な乾燥防止策を講ずる。
- ② 冬期は、早期に降雨・降雪に遭うと硬化不良等の恐れがあるので、シート掛け養生など、適切な防止策を講ずる。



### [注意事項]

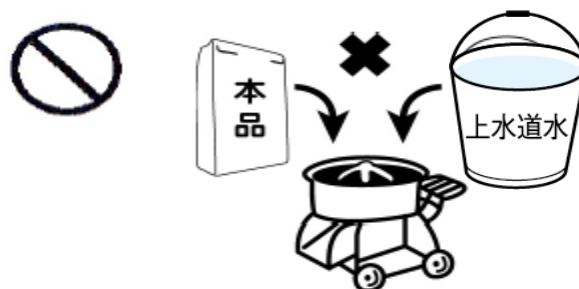
- 1) シーエル5、シーエル8は既調合品ですので他の材料を一切混入しないで下さい。



- 2) 練混ぜた材料は、練置時間として1時間以内が目安です。

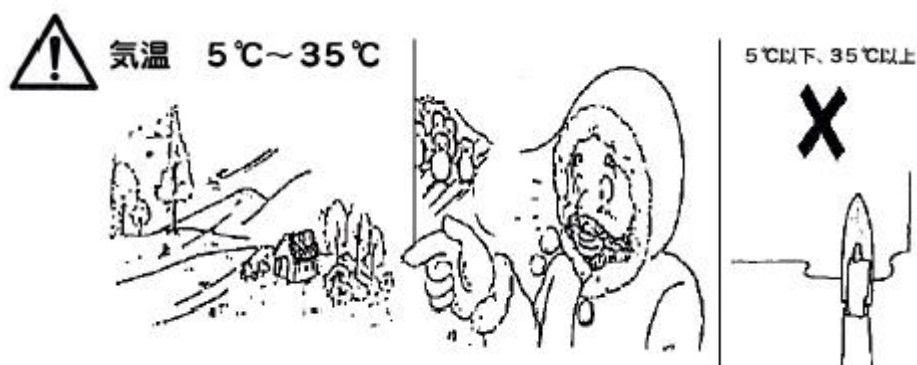


- 3) 練足し、練戻しは避けて下さい。





- 4) 気温が5℃以下、35℃以上になる恐れのある場合は、施工を避けて下さい。



## 使用上の注意事項

本品は厳重な品質管理のもと、工場にて製造された既調合です。

「使用上の注意事項」及び「取扱い時の安全対策（概要）」を確認の上、安全対策には十分留意してご使用下さい。

1. 既調合品の為、指定材料以外のものを練混ぜないで下さい。なお、練混ぜには上水道水を使用して下さい。
2. 練混ぜた材料は夏期1時間、冬期2時間以内に使用して下さい。練足しや加水しての練戻しをしないで下さい。
3. 強風や直射日光等による急激な乾燥を防止するため、シート養生等適切な措置をして下さい。
4. 本品使用時の施工は、気温が5℃～35℃の範囲内で行ってください。
5. 製品の製造年月日を確認し、製造から6カ月以上経過した製品は使用しないで下さい。また、開封した製品はできるだけ早く使用して下さい。
6. 下地コンクリートが、JASS5〈鉄筋コンクリート工事〉の標準を満たしていない場合は施工を避けて下さい。
7. コンクリートブロックに施工される場合は各営業店にご相談下さい。
8. 悪天候（降雨、降雪等）、またその恐れがある場合は施工を避けて下さい。

## 取扱い時の安全対策（概要）

### ・取扱い及び保管上の注意

1. 目や皮膚等に触れないように適切な保護具（保護手袋、防塵マスク、保護メガネ等）を着用して取り扱って下さい。また、取扱い後は顔、手、口等を水で洗浄して下さい。

2. 製品の保管は、セメント同様の取り扱いとし、雨露のかからない屋内の湿気の少ない場所に、床面から離して保管して下さい。

・ 応急処置

〔目に入った場合〕

直ちに清浄な水で最低 15 分間洗浄し、速やかに専門医の治療を受けて下さい。

〔皮膚に付着した場合〕

速やかに水または温水で十分に洗い流して下さい。肌荒れがひどい場合は、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔吸引した場合〕

速やかに新鮮な空気のある場所へ移動し、水または温水でうがいを行って安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

〔飲み込んだ場合〕

水でよく口の中を洗う等して、直ちに医師の診断を受けて下さい。

・ 濾出時の注意

飛散した粉末は掃除機で吸い取って回収するか、ホウキやスコップで集め空袋等に回収して下さい。

・ 廃棄上の注意

廃棄する製品や練混ぜ材等は硬化させてから、産業廃棄物として適切な処置をして下さい。また、洗浄水等の排出は水質汚濁防止法等に注意して下さい。

・ 輸送上の注意

破袋、荷崩れ、落下等の防止策を確実に行って下さい。また、降雨時の湿気や水漏れに注意して下さい。

※本マニュアルの内容は、断りなく変更することがありますので、ご了承ください。

プレミックスの開発メーカー



株式会社 豊 運



ISO 9001

本 社 〒546-0003  
大阪市東住吉区今川 3 丁目 12 番 4 号  
TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133  
URL: <http://www.ho-un.co.jp/>

東日本営業部 TEL 0247-54-3232 FAX 0247-24-1004  
西日本営業部 TEL 06-6708-8131 FAX 06-6708-8133

改訂 2018/11 第5版